



2024年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月13日

上場会社名 横浜冷凍株式会社 上場取引所 東
コード番号 2874 URL <https://www.yokorei.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古瀬 健児
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員広報IR部長兼広報室長 (氏名) 小松 晃子 TEL 045-210-0011
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日
配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第1四半期の連結業績（2023年10月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第1四半期	33,301	1.7	1,738	59.1	1,691	28.8	1,285	72.1
2023年9月期第1四半期	32,748	11.1	1,092	△27.0	1,312	△30.6	746	△39.8

(注) 包括利益 2024年9月期第1四半期 1,075百万円 (151.2%) 2023年9月期第1四半期 427百万円 (△71.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第1四半期	21.86	—
2023年9月期第1四半期	12.70	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年9月期第1四半期	204,886	87,672	42.1	1,465.44
2023年9月期	197,695	87,334	43.4	1,460.17

(参考) 自己資本 2024年9月期第1四半期 86,185百万円 2023年9月期 85,875百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	11.50	—	12.50	24.00
2024年9月期	—	—	—	—	—
2024年9月期(予想)	—	12.00	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2023年9月期の期末配当金の内訳 普通配当 11円50銭 記念配当 1円00銭

3. 2024年9月期の連結業績予想（2023年10月1日～2024年9月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	68,280	7.9	2,050	20.8	2,150	7.9	1,400	17.6	23.81
通期	139,000	3.8	4,550	20.2	4,750	13.0	3,050	7.7	51.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名） 、 除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年9月期1Q	59,266,684株	2023年9月期	59,266,684株
② 期末自己株式数	2024年9月期1Q	454,904株	2023年9月期	454,502株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年9月期1Q	58,811,924株	2023年9月期1Q	58,825,898株

当第1四半期末において、役員報酬BIP信託口が保有する当社株式222,500株を自己株式に含めています。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、当社グループを取り巻く経済状況、事業環境、他社との競合、自然災害、金利等様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2023年10月1日～2023年12月31日)における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の分類移行に伴い、行動制限が緩和され社会経済活動の正常化が進んだものの、世界規模での金融引き締め等による景気停滞、長期化するロシアによるウクライナ侵攻に加え中東情勢の緊迫化等により、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループは2030年に向けた長期的方針「ヨコレイ事業ビジョン2030」および「ヨコレイサステナビリティビジョン2030」を策定し、「ヨコレイ事業ビジョン2030」では冷蔵倉庫事業、食品販売事業の「ありたい姿」を定めました。冷蔵倉庫事業は「伝統と革新を融合したスマートコールドサービスをお約束します」、食品販売事業は「お客様とともに食の独自価値を実現し、生産者に寄り添い守り、世界の食卓を豊かにします」とし、実現に向けたセカンドステージとして、2026年を最終年度とする新・中期経営計画(第Ⅱ期)「繋ぐ力」を策定しました。冷蔵倉庫事業は「積み重ねてきた高品質な物流で国内外の課題を解消し、お客様へスマートコールドサービスを提供」、食品販売事業は「国内外の生産者とのネットワークを活かし、目利き力により旬や美味しさをお客様へ」を方針としました。最終年度(2026年9月期)に「連結売上高1,500億円」「連結営業利益65億円」「EBITDA130億円」「ROE5%以上」「自己資本比率40%台を維持」とした定量目標を達成すべく、各重点戦略に取り組んでおります。

その結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の連結経営成績は、売上高33,301百万円(前期比1.7%増)、営業利益1,738百万円(前期比59.1%増)、経常利益1,691百万円(前期比28.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,285百万円(前期比72.1%増)となりました。

(冷蔵倉庫事業)

当第1四半期連結累計期間は増収増益となりました。

前期からの高い在庫水準が続いており、畜産品の取扱いは減少しましたが、水産品、農産品の取扱いが増加し、保管料収入、荷役料収入は共に増収となりました。また、昨年新設したちばりサーチパーク物流センターも順調に稼働しており、増収に寄与しました。タイの連結子会社THAI YOKOREI CO.,LTD.においても、主力取扱品である畜産品の取扱量が増加し、セグメント利益を牽引しました。

以上の結果、冷蔵倉庫事業の業績は、売上高8,813百万円(前期比8.6%増)、営業利益2,322百万円(前期比24.3%増)となりました。

(食品販売事業)

当第1四半期連結累計期間は減収増益となりました。

水産品は九州方面の前浜餌料用イワシやサバ、気仙沼のピンチョウマグロ豊漁による輸出取扱いが増加しました。また前期相場下落で利益率を落としたエビ、魚卵も利益率が回復し、水産品全体では利益重視の販売に取り組み減収ながら増益となりました。

畜産品はポーク、チキンともにインバウンドによる外食需要が増加したことによる取扱いが増え、セグメントを牽引し畜産品全体では増収増益となりました。

農産品は昨年夏の高温による異常気象のため収穫量が減少し、減収減益となりました。

以上の結果、食品販売事業の業績は、売上高24,472百万円(前期比0.6%減)、営業利益486百万円(前期比66.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ7,191百万円増加し、204,886百万円となりました。これは主に、有形固定資産が4,455百万円、商品が2,796百万円、現金及び預金が1,496百万円増加したこと、前渡金が697百万円、貸付金が474百万円減少したこと等によるものです。

負債総額は、前連結会計年度末に比べ6,853百万円増加し、117,214百万円となりました。これは主に、借入金が2,247百万円、その他(設備関係支払手形)が3,627百万円増加したこと等によるものです。

また、純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ337百万円増加し、87,672百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」)は、前連結会計年度末に比べ1,496百万円増加の5,424百万円となりました。当第1四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況と主な内容は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,271百万円の資金の増加(前年同四半期は9,538百万円の資金の減少)となり、その主な内容は税金等調整前四半期純利益1,691百万円、減価償却費1,604百万円、仕入債務の増加額1,215百万円等による資金の増加と、棚卸資産の増加額2,763百万円、売上債権の増加額671百万円等の資金の減少によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,247百万円の資金の減少(前年同四半期は3,154百万円の資金の減少)となり、その主な内容は貸付金の回収による収入268百万円等による資金の増加と、有形固定資産の取得による支出1,568百万円等の資金の減少によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、1,465百万円の資金の増加(前年同四半期は13,168百万円の資金の増加)となり、その主な内容は金融機関からの借入の純増額2,240百万円による資金の増加と、配当金の支払額739百万円等の資金の減少によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年9月期の連結業績予想につきましては、「2023年9月期 決算短信」(2023年11月14日付)で公表した数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,937	5,434
受取手形及び売掛金	20,002	20,676
商品	17,935	20,732
前渡金	2,178	1,481
短期貸付金	870	645
その他	1,355	829
貸倒引当金	△101	△101
流動資産合計	46,179	49,697
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	54,182	53,890
機械装置及び運搬具(純額)	8,353	8,125
土地	30,507	30,509
リース資産(純額)	312	343
建設仮勘定	7,056	12,005
その他(純額)	756	749
有形固定資産合計	101,168	105,623
無形固定資産		
のれん	32	22
その他	3,398	3,390
無形固定資産合計	3,431	3,412
投資その他の資産		
投資有価証券	42,264	41,863
長期貸付金	4,724	4,473
その他	1,200	1,029
貸倒引当金	△1,274	△1,213
投資その他の資産合計	46,915	46,151
固定資産合計	151,516	155,188
資産合計	197,695	204,886

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,871	6,087
短期借入金	21,087	24,593
1年内返済予定の長期借入金	5,864	5,730
リース債務	95	95
未払法人税等	899	324
賞与引当金	812	175
役員賞与引当金	45	9
その他	5,099	9,638
流動負債合計	38,777	46,654
固定負債		
社債	30,000	30,000
長期借入金	38,586	37,462
リース債務	245	278
繰延税金負債	333	523
役員報酬BIP信託引当金	143	95
退職給付に係る負債	1,081	1,087
資産除去債務	91	91
その他	1,102	1,020
固定負債合計	71,583	70,559
負債合計	110,360	117,214
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,303	14,303
資本剰余金	14,419	14,419
利益剰余金	52,213	52,760
自己株式	△386	△386
株主資本合計	80,549	81,097
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,392	4,116
繰延ヘッジ損益	213	233
為替換算調整勘定	884	895
退職給付に係る調整累計額	△164	△158
その他の包括利益累計額合計	5,326	5,088
非支配株主持分	1,459	1,487
純資産合計	87,334	87,672
負債純資産合計	197,695	204,886

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
売上高	32,748	33,301
売上原価	29,398	29,278
売上総利益	3,350	4,022
販売費及び一般管理費	2,258	2,284
営業利益	1,092	1,738
営業外収益		
受取利息	120	55
受取配当金	117	104
保険配当金	33	18
デリバティブ評価益	169	41
その他	187	141
営業外収益合計	628	361
営業外費用		
支払利息	88	109
為替差損	298	217
その他	21	81
営業外費用合計	408	408
経常利益	1,312	1,691
税金等調整前四半期純利益	1,312	1,691
法人税、住民税及び事業税	269	78
法人税等調整額	280	306
法人税等合計	550	385
四半期純利益	762	1,306
非支配株主に帰属する四半期純利益	15	20
親会社株主に帰属する四半期純利益	746	1,285

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	762	1,306
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△236	△276
繰延ヘッジ損益	△136	20
為替換算調整勘定	△55	18
退職給付に係る調整額	92	6
その他の包括利益合計	△334	△231
四半期包括利益	427	1,075
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	426	1,047
非支配株主に係る四半期包括利益	1	27

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,312	1,691
減価償却費	1,541	1,604
のれん償却額	10	11
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△642	△636
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△16	△35
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△87	△59
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△49	12
受取利息及び受取配当金	△238	△160
役員報酬BIP信託引当金の増減額 (△は減少)	—	△48
支払利息	88	109
デリバティブ評価損益 (△は益)	△169	△41
売上債権の増減額 (△は増加)	△5,111	△671
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△6,086	△2,763
前渡金の増減額 (△は増加)	△628	688
仕入債務の増減額 (△は減少)	628	1,215
未払費用の増減額 (△は減少)	443	13
その他	33	723
小計	△8,973	1,652
利息及び配当金の受取額	232	160
利息の支払額	△40	△109
法人税等の支払額	△756	△432
営業活動によるキャッシュ・フロー	△9,538	1,271
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,205	△1,568
有形固定資産の売却による収入	1	0
無形固定資産の取得による支出	△149	△47
投資有価証券の取得による支出	△2,606	△2
貸付けによる支出	△300	△15
貸付金の回収による収入	3,113	268
その他	△6	118
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,154	△1,247
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	14,946	3,502
長期借入金の返済による支出	△871	△1,261
自己株式の取得による支出	△199	△0
配当金の支払額	△682	△739
その他	△24	△35
財務活動によるキャッシュ・フロー	13,168	1,465
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	6
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	474	1,496
現金及び現金同等物の期首残高	2,413	3,927
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,887	5,424

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	冷蔵倉庫事業	食品販売事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,115	24,618	14	32,748	—	32,748
セグメント間の内部売上高 又は振替高	517	—	8	526	△526	—
計	8,633	24,618	22	33,275	△526	32,748
セグメント利益又は損失 (△)	1,868	291	5	2,165	△1,073	1,092

(注) 1.セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,073百万円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2.セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	冷蔵倉庫事業	食品販売事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,813	24,472	14	33,301	—	33,301
セグメント間の内部売上高 又は振替高	471	—	8	479	△479	—
計	9,284	24,472	22	33,780	△479	33,301
セグメント利益又は損失 (△)	2,322	486	7	2,816	△1,078	1,738

(注) 1.セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,078百万円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2.セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。